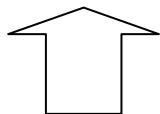
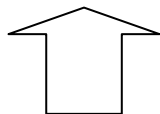


<我が国経済の基調判断>

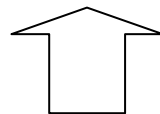
景気は、おおむね横ばいとなっている。
株価やアメリカ経済の動向など、我が国の景気を巡る環境に変化の兆しがみられる。



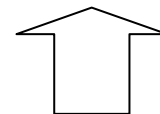
輸出はこのところ弱含みとなっている一方、生産は横ばいとなっている。



企業収益は緩やかな改善が続いており、設備投資は緩やかな持ち直しが続いている。



個人消費は、おおむね横ばいで推移している。



雇用情勢は、依然として厳しいものの、一部に持ち直しの動きがみられる。

先行きについては、アメリカ経済等の回復が持続すれば、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、今後の株価・長期金利や海外経済の動向には留意する必要がある。

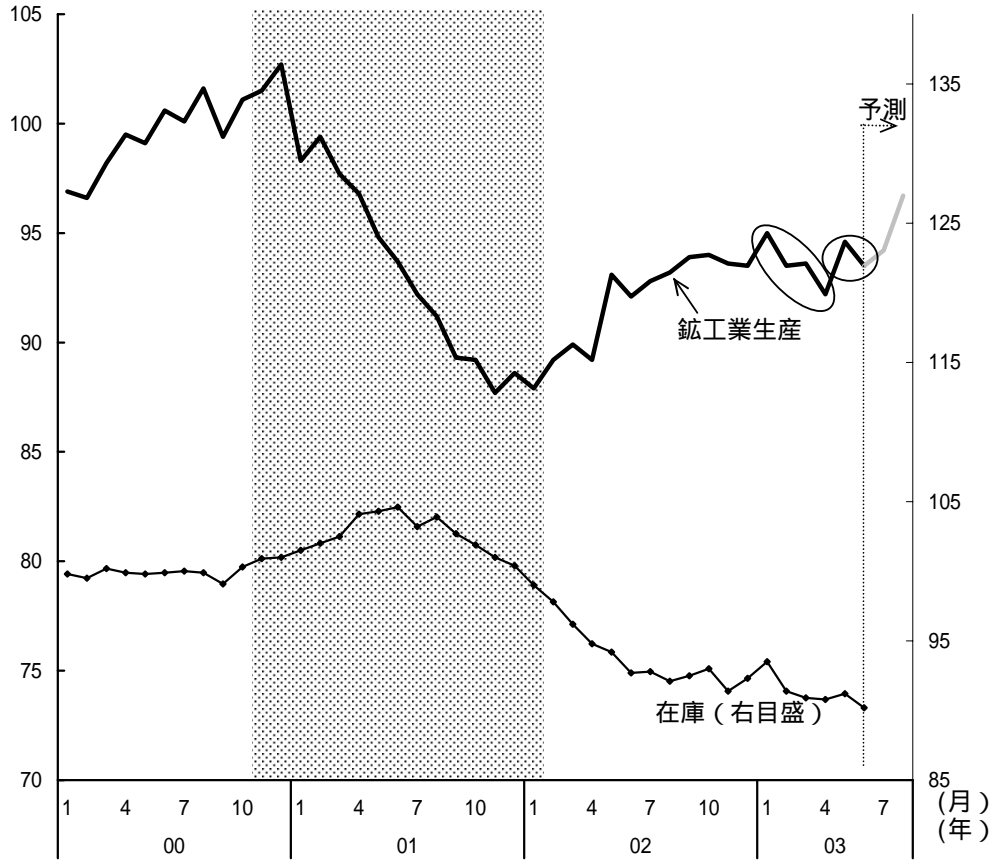
<政策の基本的態度>

政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。平成16年度予算編成については、歳出、歳入両面及び質、量両面にわたる改革をさらに加速する。

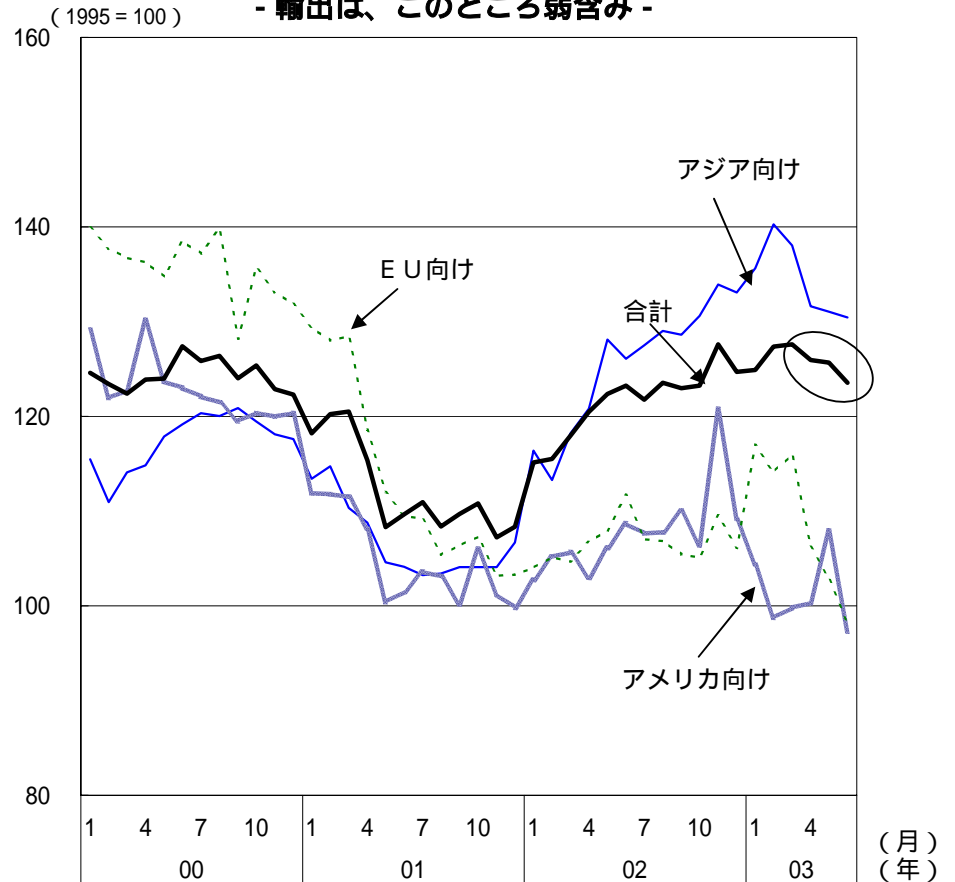
政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。

『景気の基調判断』
 景気は、おおむね横ばいとなっている。
 株価やアメリカ経済の動向など、我が国の景気を巡る環境に変化の兆しがみられる。

鉱工業生産は、弱含みから横ばいへ



輸出数量の推移
 - 輸出は、このところ弱含み -



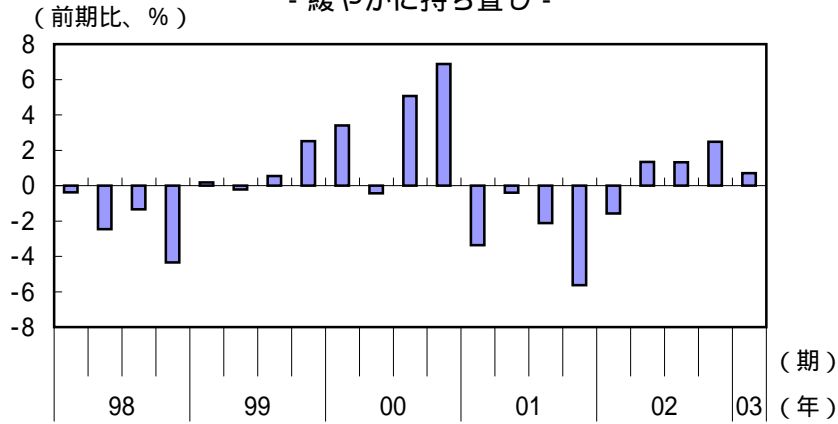
(備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。
 2. 季節調整済指数(2000年=100)。シャドー部は景気後退期を表す。
 3. 03年7月、8月の生産指数は、製造工業生産予測調査の増減率を用いて試算したもの。

(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。
 2. 数値はすべて季節調整値。

企業部門は持ち直しの動き

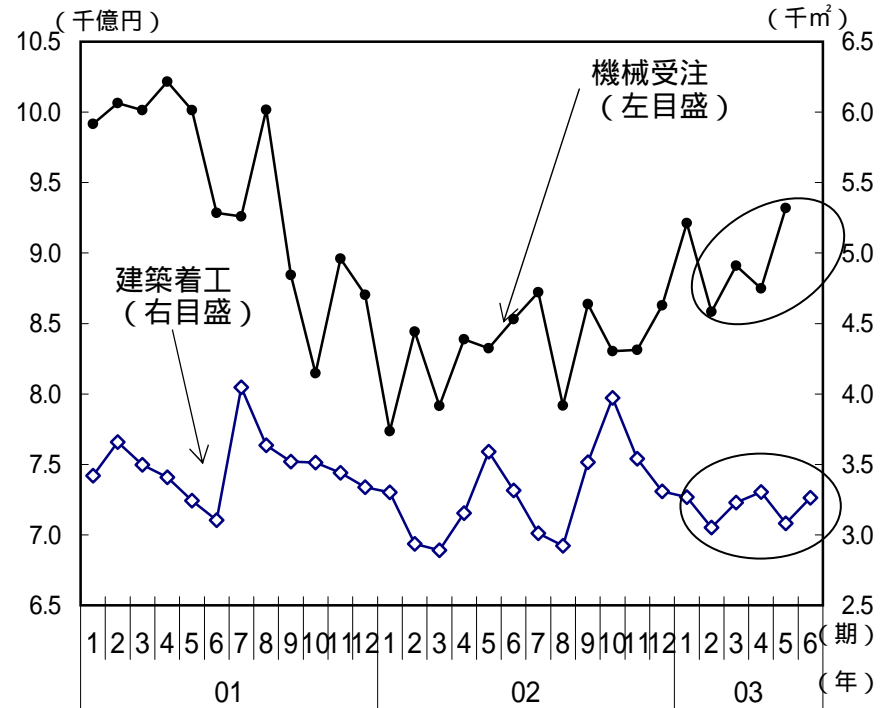
設備投資(実質)の推移

- 緩やかに持ち直し -



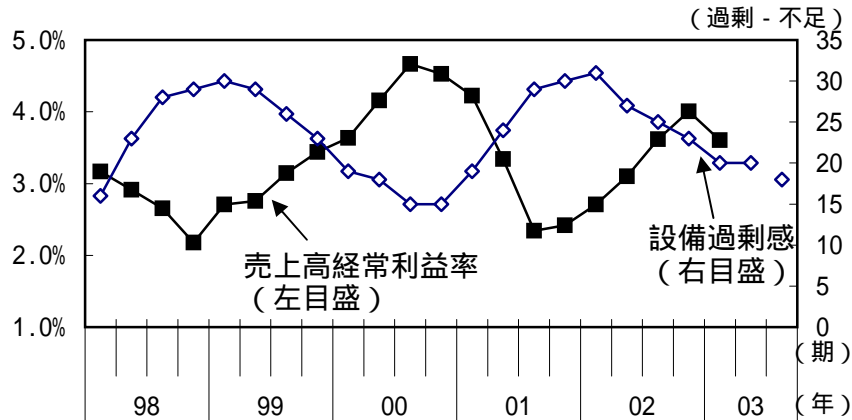
設備投資の先行指標の動き

- 先行きも持ち直し続く見込み -



利益率、設備過剰感が改善

設備投資の回復を下支え



(備考)

内閣府「機械受注統計調査報告」の民需(除船電)。
国土交通省「建築着工統計調査」の着工床面積(季節調整値)。
(非居住用の鉱工業、商業用、サービス業用の合計)。

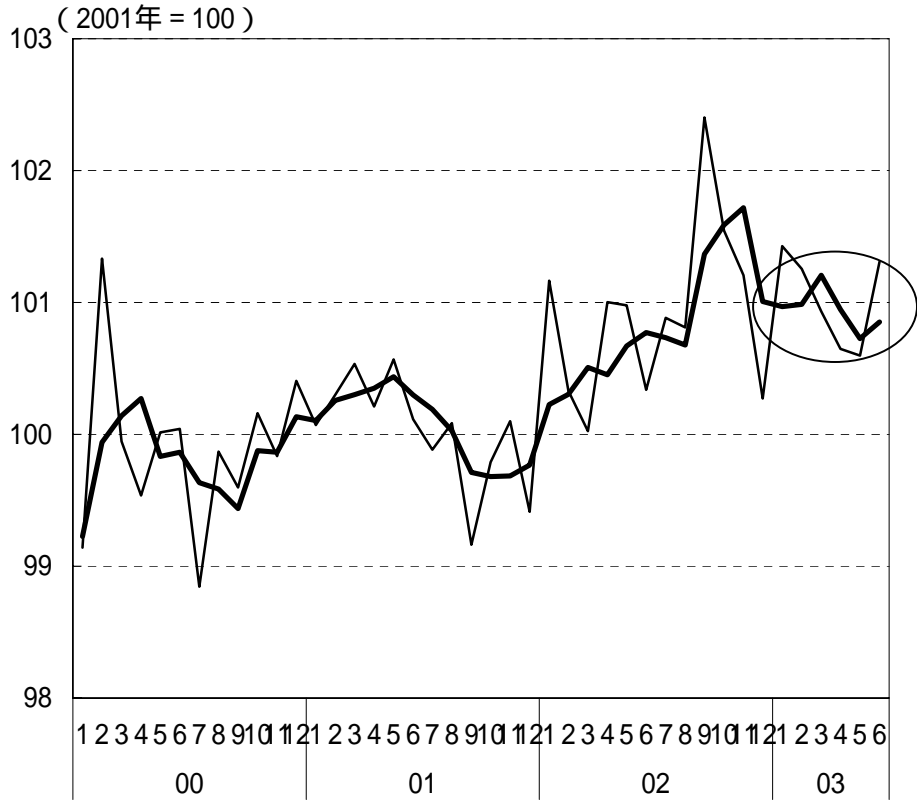
(備考) 内閣府「四半期GDP速報」、財務省「法人企業統計季報」、日本銀行「短観」より作成。

設備投資は全産業。売上高経常利益率、設備過剰感は製造業。

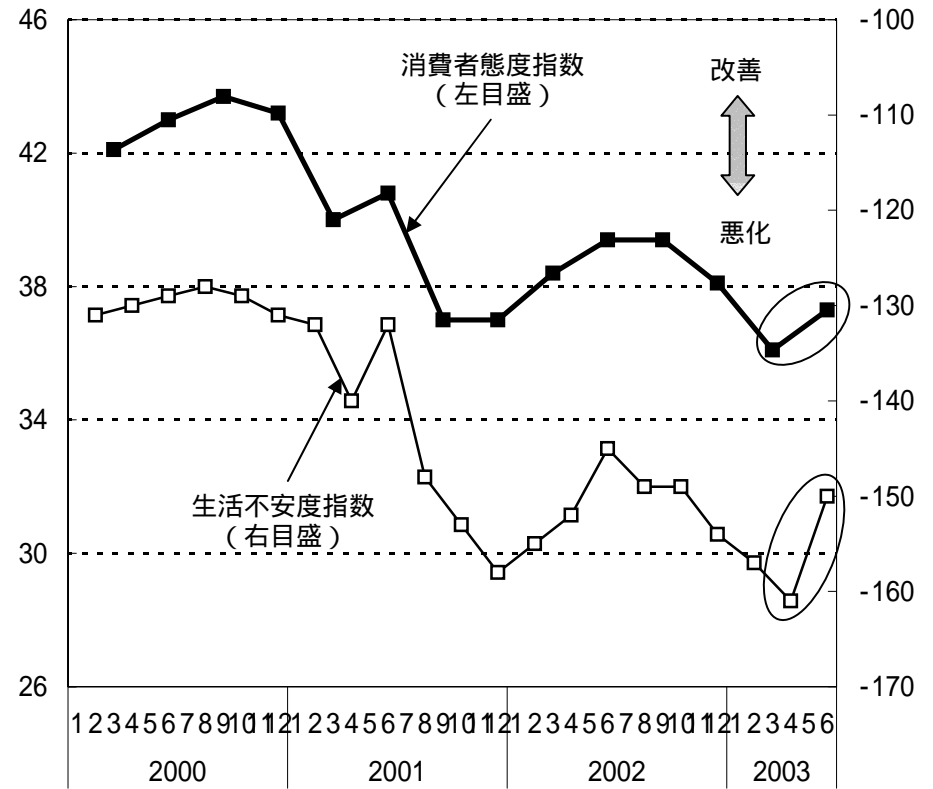
家計部門はおおむね横ばい

消費総合指数の推移

- 個人消費は横ばい状態続く -



消費者マインドに、持ち直しの動き



(備考)

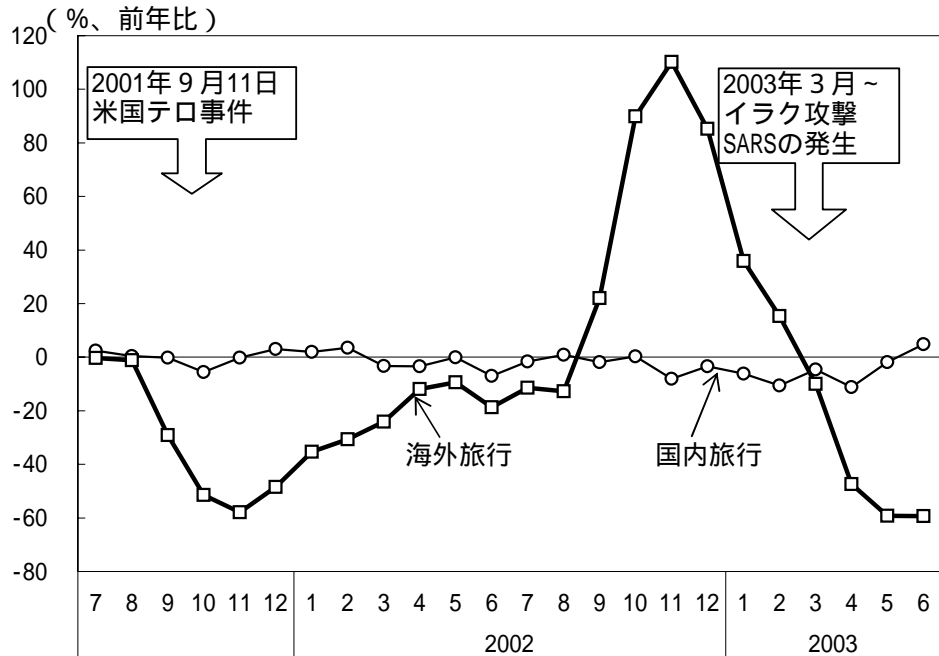
1. 内閣府（経済財政 - 景気判断・政策分析担当）が作成した「消費総合指数」。総務省「家計調査報告」、経済産業省「鉱工業出荷指数」、日本自動車工業会「自動車統計月報」等、需要側・供給側の各種統計を合成して作成。
2. 数値は季節調整値。太線は後方3ヵ月移動平均。

(備考) 消費者態度指数は、内閣府「消費動向調査」、生活不安定指数は、日本リサーチ総合研究所「消費者心理調査」より。

家計部門はおおむね横ばい

国内・海外旅行の動向

- 海外旅行の減少幅は今後縮小へ -



(備考) 大手旅行業者13社取扱金額により作成。

今年の夏休みの旅行見通し (対前年比)

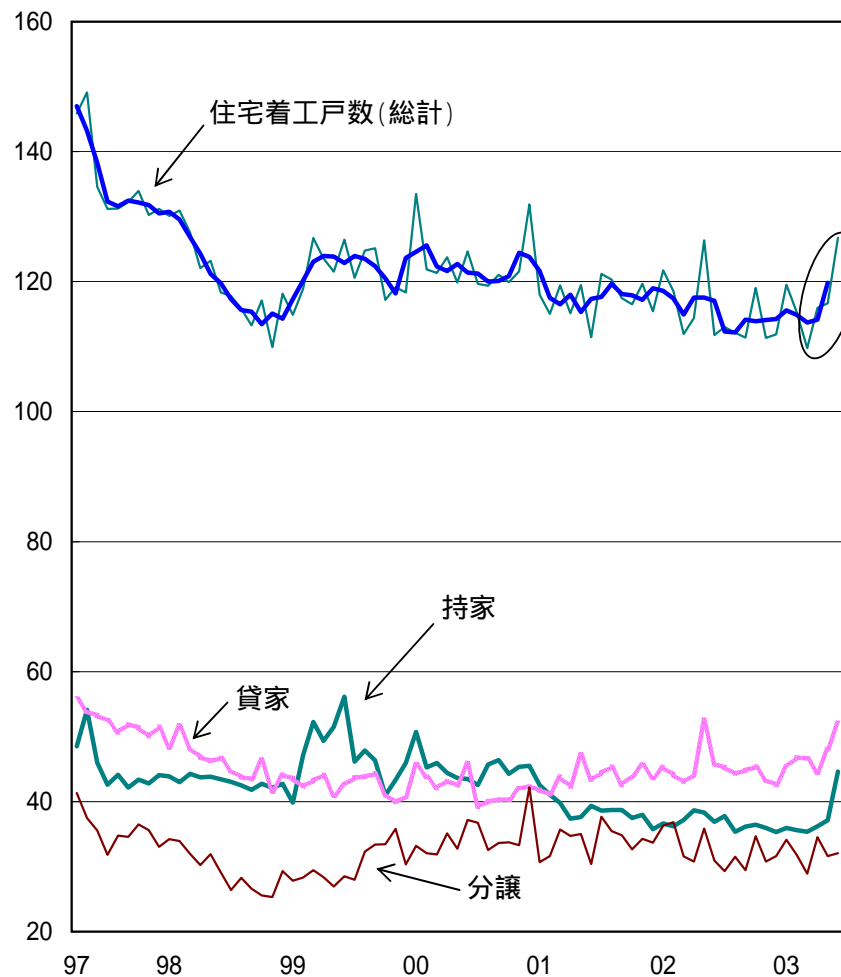
総旅行人数 + 0.3%
 国内旅行人数 + 1.1%
 海外旅行人数 24.7%

(備考) JTBによる見通し。夏休み期間は7月15日から8月31日。

住宅投資の動向

- このところ増加 -

(年率: 万戸)



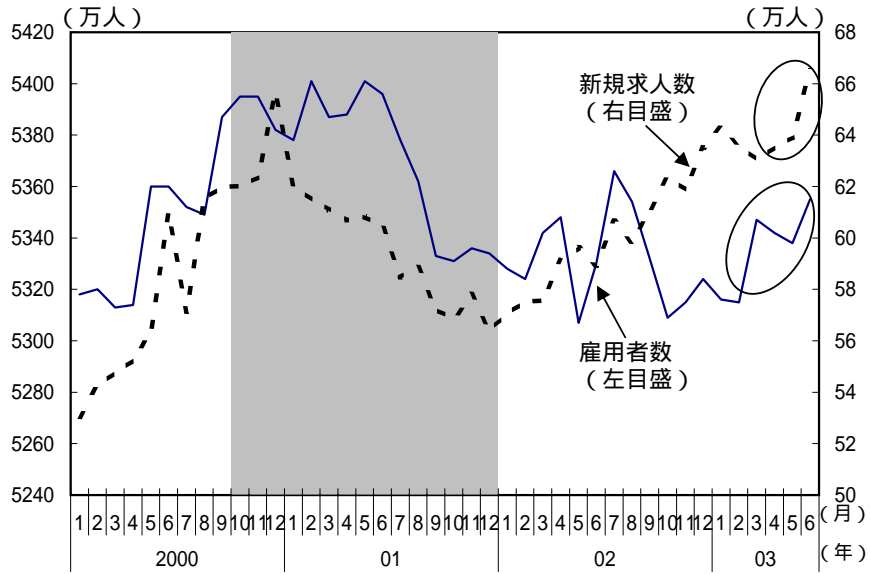
(備考) 国土交通省「建築着工統計」より作成。

雇用情勢とデフレの現状

失業率(6月) = 5.3%

- ・ 2001年9月以降、5.3～5.5%で推移
- ・ 5.5%が既往最高水準

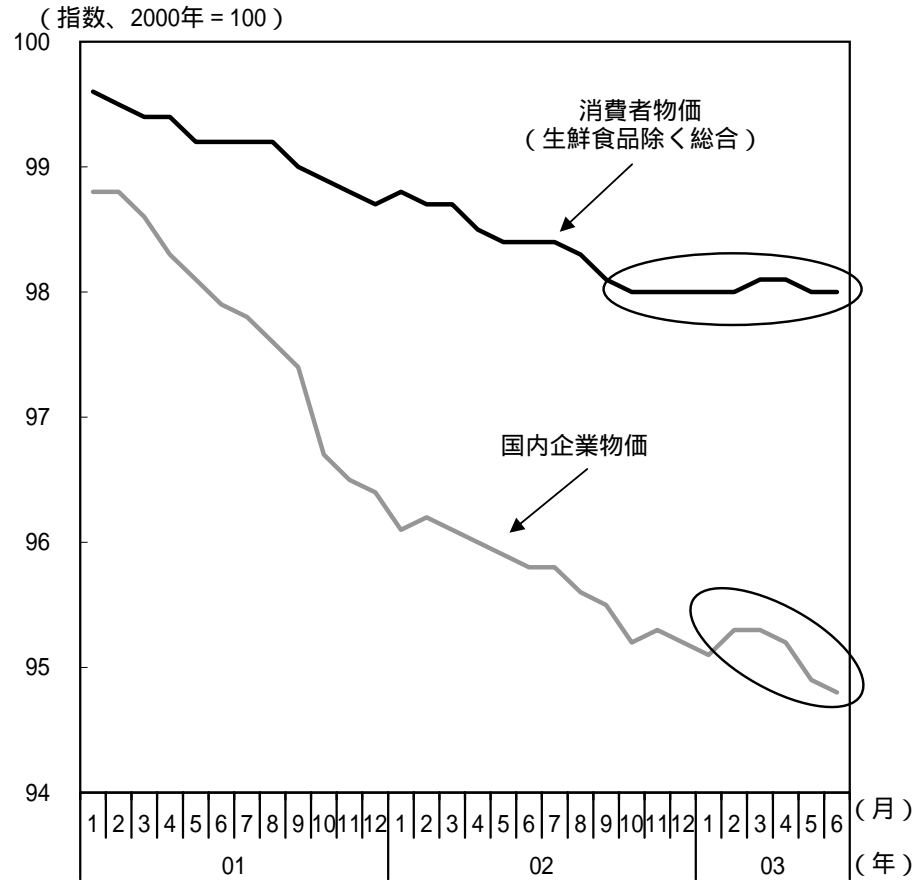
雇用情勢：一部に改善の動き
 - 雇員数と新規求人数が持ち直し -



(備考) 1. 総務省「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」により作成。
 2. 季節調整値。

緩やかなデフレ状態に変化なし

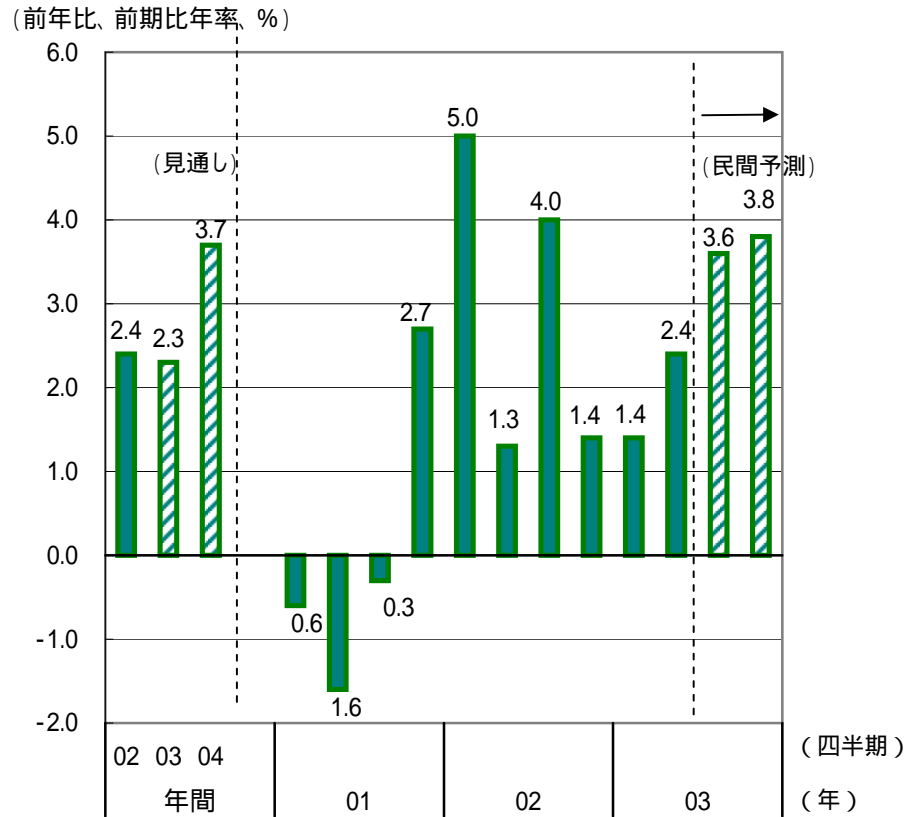
- 企業物価は弱含み、消費者物価は横ばい -



(備考) 1. 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」により作成。
 2. 消費者物価は全国、季節調整済指数。

世界経済の動向

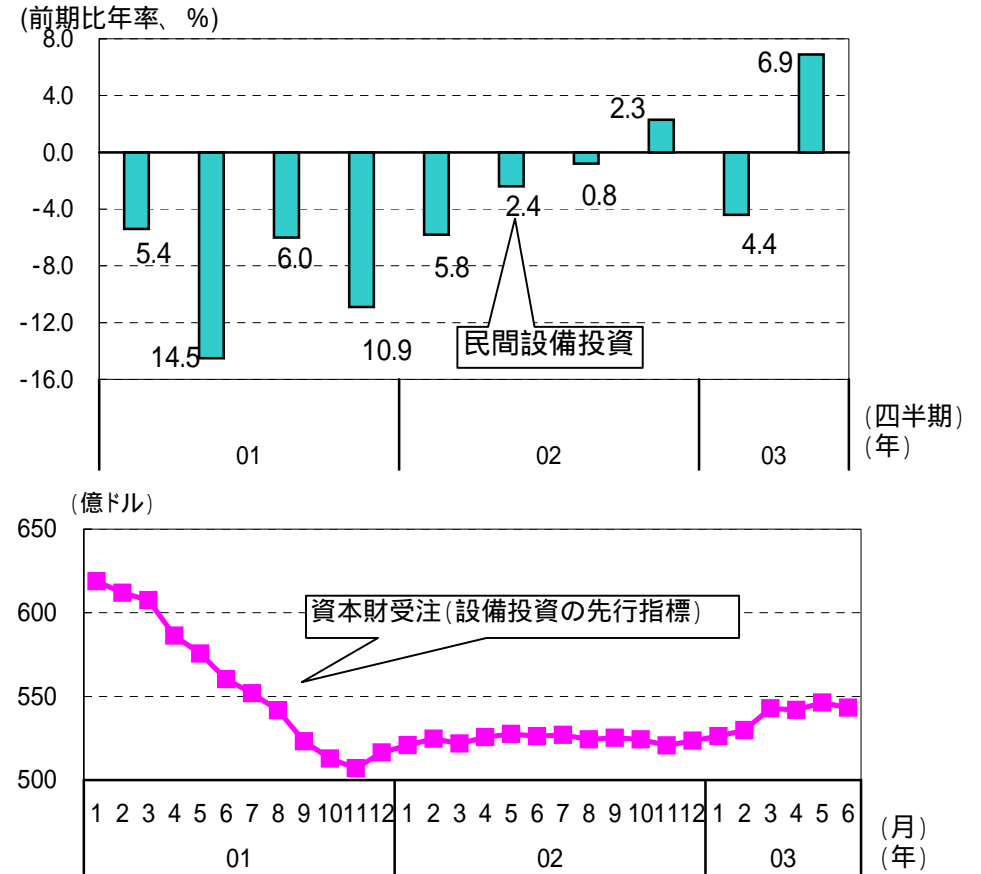
アメリカ:景気回復の勢いは持ち直しへ



(出所) アメリカ商務省、ブルーチップ・インディケーター (7月10日号)
 (注) 民間調査機関53社の単純平均

アメリカ:回復遅れる企業部門の動向が鍵

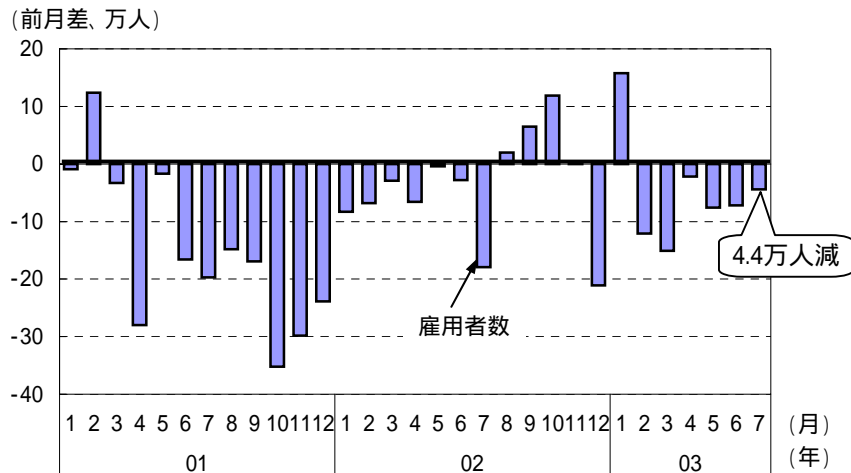
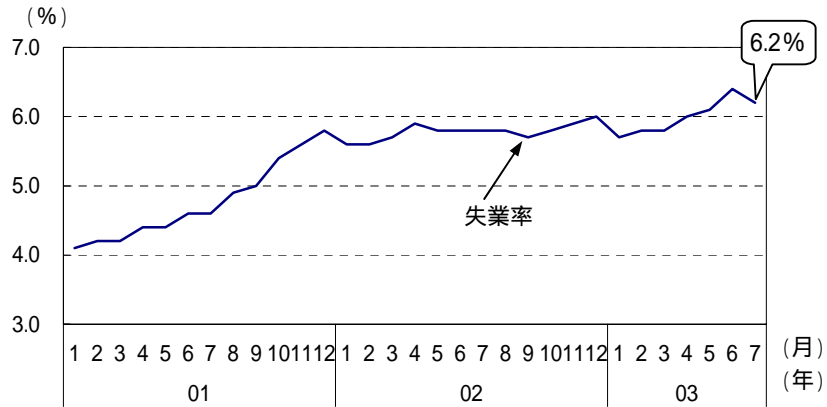
- 設備投資に持ち直しの動き -



(出所) アメリカ商務省
 (注) 資本財受注: 非軍需資本財 (除く航空機) 受注の3ヶ月移動平均

世界経済の動向

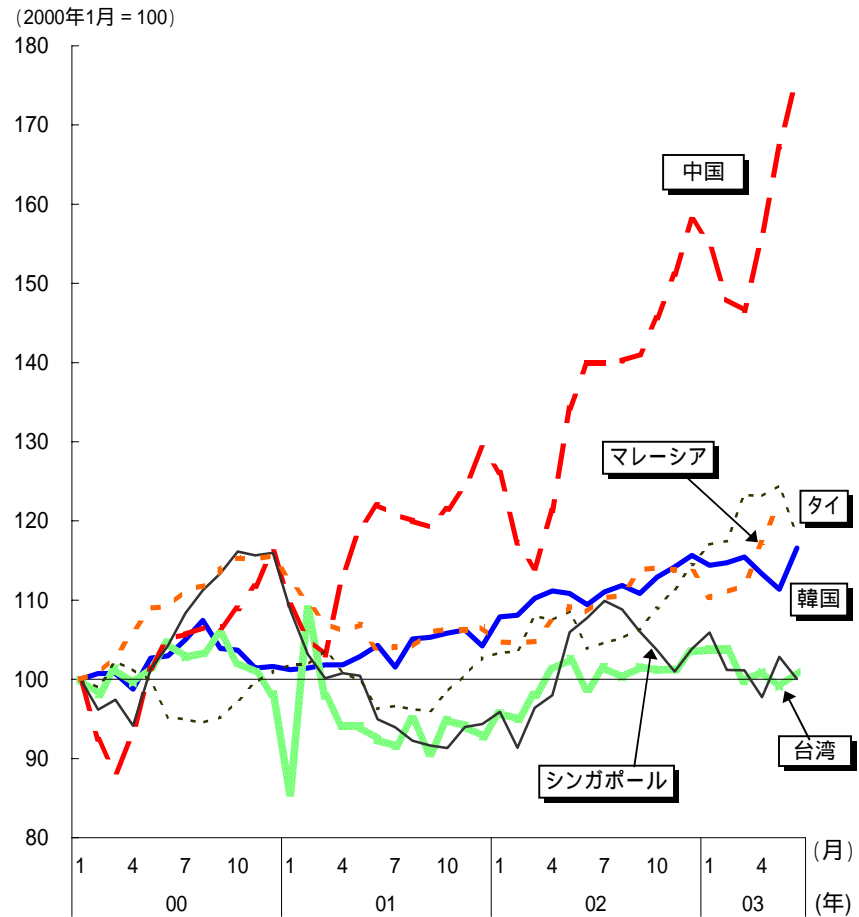
アメリカ:雇用情勢は依然厳しい



(出所) アメリカ労働省
(注) 雇用者数は非農業部門の雇用者数。

アジア:製造業生産の推移

- 中国の高成長続く -



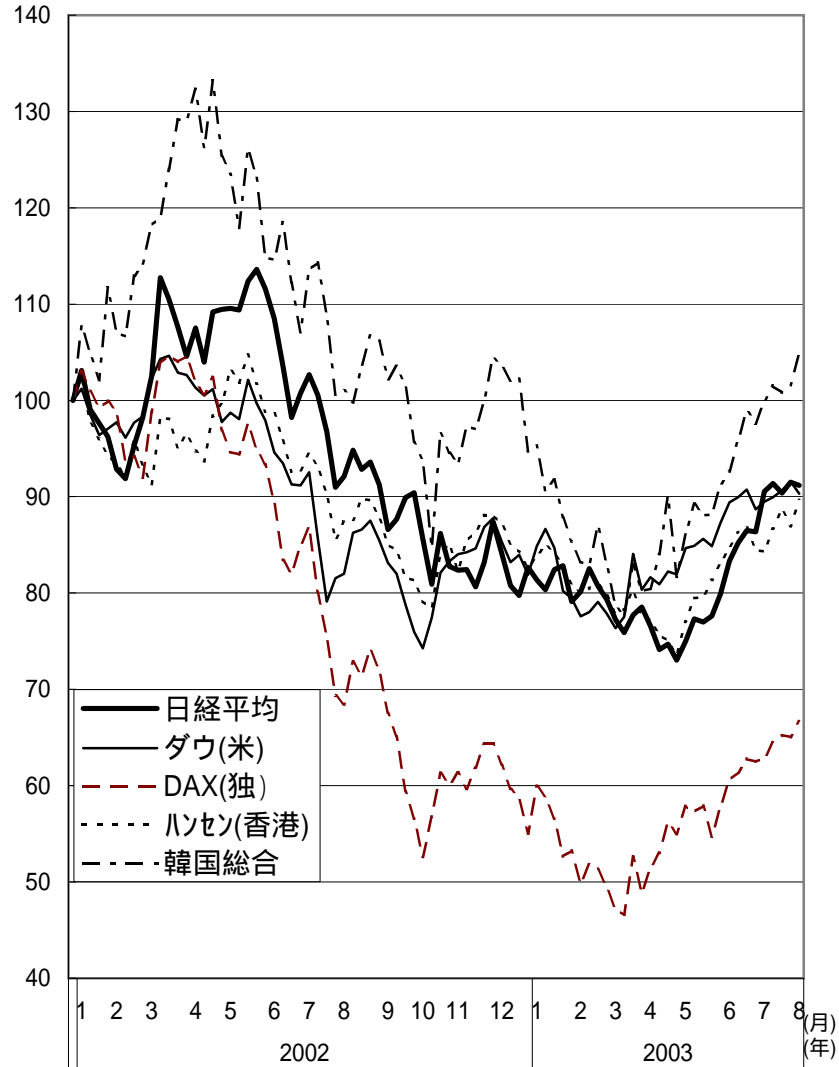
(出所) 各国・地域統計

(注) 1. シンガポール、タイは製造業生産指数、
中国は鉱工業生産付加価値額。
2. 韓国、台湾は季調値(台湾は内閣府試算)、その他は原数値の3か月移動平均。

株価の推移

欧米、アジア各国ともに、株価は回復基調

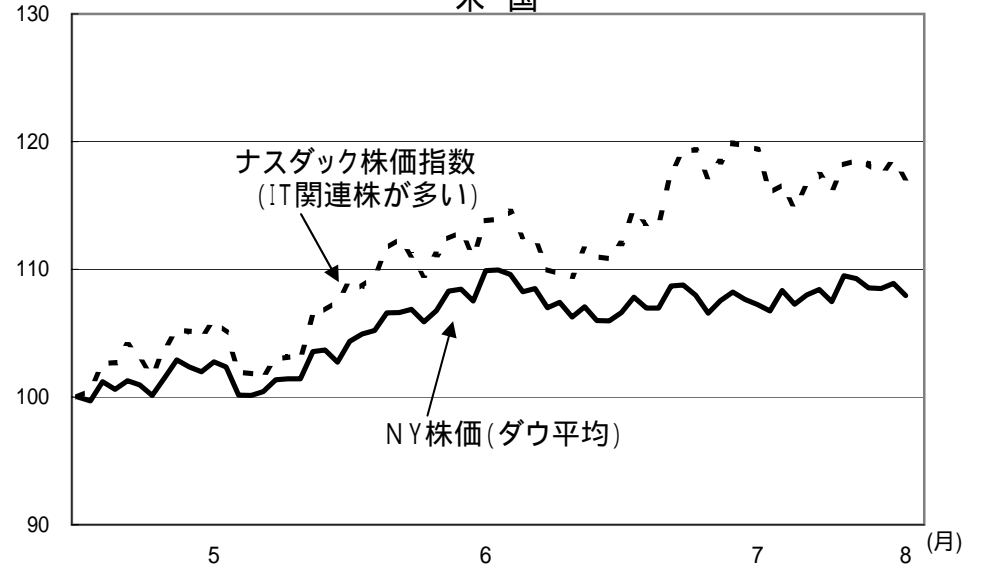
- 昨年半ば頃の水準に -



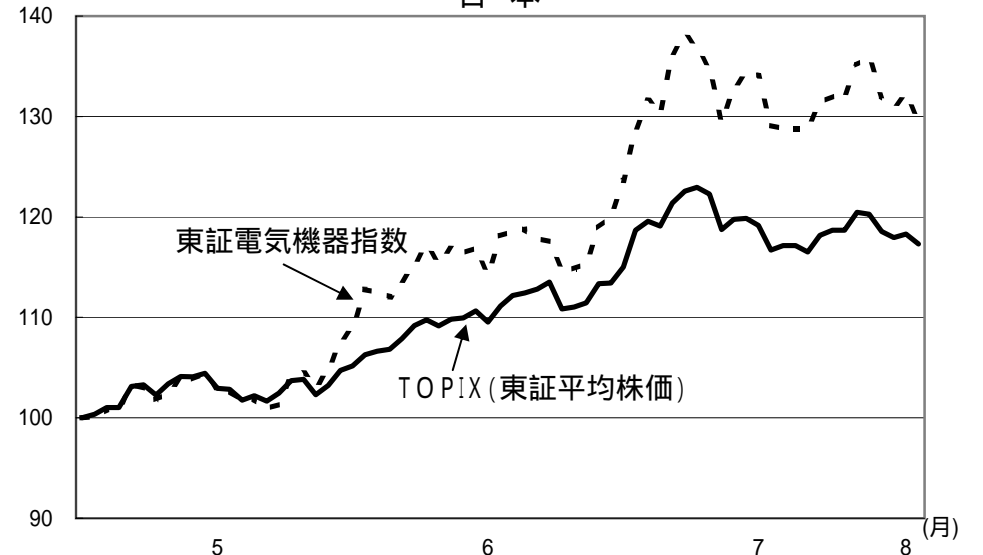
(備考) 2001年末を100として指数化。
週末ベース。

日米におけるIT関連株の動向

米 国



日 本



(備考) 2003年4月末を100として指数化。